

〔例題1〕 チクセントミハイ（Csikszentmihalyi, M.）の提唱したフロー経験（体験）に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 熱中しているときの忘我の状態の感覚のことであり、行為と意識の融合、注意の集中、環境を支配している感情、自己目的性などの特徴がある。
2. 自我意識のうちの能動性の意識が障害された状態であり、他人に何かをさせられている、何かを考えさせられていると感じる体験である。
3. 創造的問題解決の過程において、洞察を得る瞬間にしばしば伴う「あー（わかった）」と声を出すほどに感動する心的体験のことである。
4. 回避できない不快な経験が繰り返されることによって生じる、何をしても環境を変えられないという全般的にネガティブな感覚のことである。
5. 目標へ接近していく行動が阻止された際に生じる緊張状態からくる不快な感覚のことである。

〔正答1〕

〔例題2〕 年金制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 国民年金の第1号被保険者とは、厚生年金に加入している者をいう。
2. 老齢基礎年金は、老齢期における稼得能力の喪失に対応するためのものであり、その財源のうち国庫負担の割合は3分の1である。
3. 老齢基礎年金を受け取るための保険料納付済期間や保険料免除期間などを合計した受給資格期間は、少なくとも8年である。
4. 現在、老齢厚生年金の支給開始年齢は、男性は2025年度まで、女性は2030年度までにかけて、支給開始年齢が70歳へと段階的に引き上げられている。
5. 少子高齢化が進行する中で、将来の保険料水準の上限を固定した上でその収入の範囲内で給付を賄えるように給付水準を自動的に調整する仕組みをマクロ経済スライドという。

〔正答5〕

〔例題3〕 健やか親子21（第2次）の中間評価に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 発達障害に関する情報や、発達障害という言葉の認知は向上していると考えられる一方で、発達障害に関する正しい理解は十分に進んでいるとは言えない現状がある。
2. 十代の性に関する課題について、指標の対象としている性器クラミジア、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスの罹患率がいずれも悪化しており、今後注視が必要である。
3. 朝食を欠食する子どもの割合は、小学生、中学生いずれも5%未満となり、中間評価目標を達成したことから、最終評価目標の値を小学生、中学生ともに2.5%に変更する。
4. 積極的に育児をしている父親の割合は、「悪くなっている」と評価せざるを得ない状況にあり、父親自身の育児への参加に関する意識を向上させる取組がさらに必要である。
5. 十代の飲酒率は、中間評価目標として掲げられていた「中学3年2%未満、高校3年8%未満」を達成し、今後もこの水準を維持していくことが重要である。

〔正答1〕